地域再生プロジェクトの概要調書（第１号様式）

知床しゃりブランド創造による地域げんきプロジェクト

【格差の分野】地域経済の格差
【支援期間】平成２１年度～平成２３年度

目　的

世界自然遺産知床の町として、地域性を生かした新たな産業の創出、地場産品を生かした製品開発や付加価値化、さらには地域の優れた特産品に対し「知床しゃりブランド」として町内外に発信する事業やイベント等を展開する。これらの取組により、農水産業における生産者や加工業者、小売店や飲食店などの経営安定や所得の向上を図り、延いては一次から三次産業すべての分野において相乗的な雇用の安定と創出を目指す。

事業概要

①地場産業活性化チャレンジ事業：地場産業の活性化事業、地場産品の研究開発、販売促進や消費拡大につながる事業等に対して補助金を交付。
②知床しゃりブランド推進事業：優れた特産品を「知床しゃりブランド」品として認証し、情報発信することで地域産業の振興と活性化を図る。
③知床しゃり楽市・楽座事業：知床特産品をＰＲし、地場産品の普及促進や地産地消を促進する。

主な取組

①町内事業者が行う新起業や町外での物産展事業などに対し支援。

②優れた特産品を「知床しゃりブランド」として認証。（現在 10 事業者 19 商品）

③中心市街地で行われるイベント事業へ助成。

効　果

■新規事業者や新製品開発、町外での物産展事業などへ支援した結果、地域資源や地場産品を見直す機会が作れ、地域経済の活性化や町内事業者のレベルアップが図られた。
■町内の優れた商品をブランド認証し、積極的に町内外での物産展などで販売ＰＲした結果、事業者の販売意欲や商品開発の向上が図られた。

課題・問題点

■町内事業者の新分野への起業や新商品の開発研究などへの取り組みは進んできているが、依然として町内経済は停滞していることから、継続した支援が必要である。
■「知床しゃりブランド」は少しずつ町民に浸透してきているが、町外における認知度はまだまだ低い。

今後の展望

町内経済の活性化を図るためには、商工業と農業、漁業、観光が相互に連携し、当町が有する各種の地域資源を活用した新商品の研究開発や、ブランド化、新分野への起業などを推進し、地場産業の活性化に積極的に取り組む住民、企業、団体等に対する支援制度のさらなる充実が必要であり、今後も積極的に支援していく。